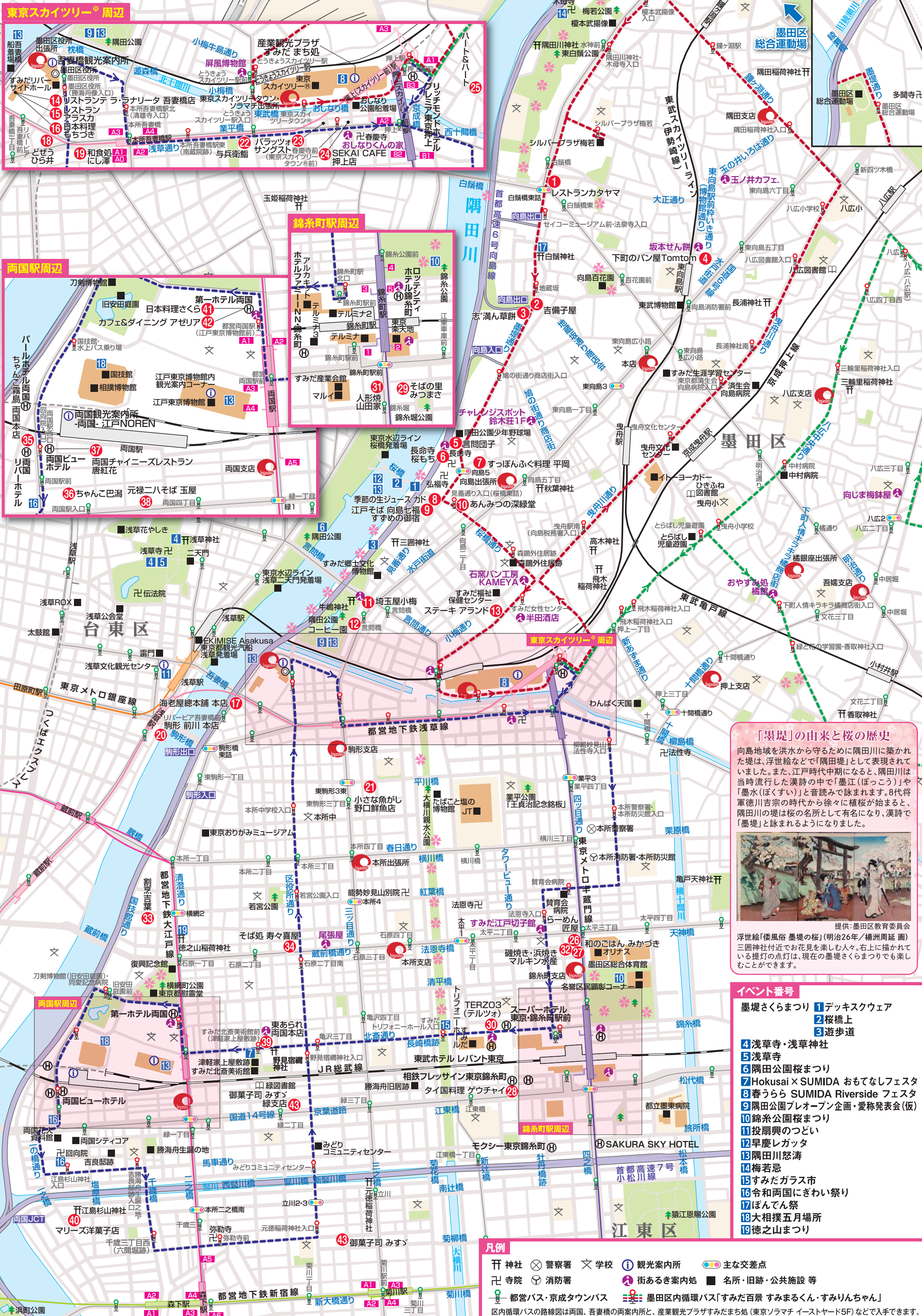




「墨堤」の由来と桜の歴史

向島地域を洪水から守るために隅田川に築かれた堤は、浮世絵などで「隅田堤」として表現されていました。また、江戸時代中期になると、隅田川は当時流行した漢詩の中で「墨江(ぼくこう)」や「墨水(ぼくすい)」と音読みで詠まれます。8代将軍徳川吉宗の時代から徐々に植桜が始まると、隅田川の堤は桜の名所として有名になり、漢詩で「墨堤」と詠まれるようになりました。



提供：墨田区教育委員会
浮世絵「倭風俗 墨堤の桜」(明治26年/楊洲周延 画)
三田神社付近でお花見を楽しむ人々。右上に描かれている提灯の点灯は、現在の墨堤さくらまつりでも楽しむことができます。

- ### イベント番号
- 墨堤さくらまつり ① デッキスクエア ② 桜橋上 ③ 遊歩道
 - ④ 浅草寺・浅草神社 ⑤ 浅草寺
 - ⑥ 隅田公園桜まつり ⑦ Hokusai x SUMIDA おもてなしフェスタ
 - ⑧ 春うらら SUMIDA Riverside フェスタ ⑨ 隅田公園プレオープン企画・愛称発表会(仮)
 - ⑩ 錦糸公園桜まつり ⑪ 投扇興のついで
 - ⑫ 早慶レガッタ ⑬ 隅田川怒涛
 - ⑭ 桜若忌 ⑮ すみだガラス市
 - ⑯ 令和両国にぎわい祭り ⑰ ぼんでん祭
 - ⑱ 大相撲五月場所 ⑲ 徳之山まつり

凡例

- 神社 警察署 学校 観光案内所 主な交差点
- 寺院 消防署 街あるき案内処 名所・旧跡・公共施設等
- 都営バス・京成タウンバス 墨田区内循環バス「すみだ百景 すみまろく・すみりんちゃん」

区内循環バスの路線図は両国、吾妻橋の両案内所と、産業観光プラザすみだまち処(東京ソラマチ イーストヤード5F)などで入手できます。